

# 会 議 録

会議の名称	平成30年度第1回春日部市総合教育会議		
開催日時	平成30年11月21日(水)	開 会	午前 <b>午後</b> 3時54分
		閉 会	午前 <b>午後</b> 4時34分
開催場所	教育センター1階 委員会会議室		
出席者	構 成 員	春日部市長 石川 良三 <b>【教育委員会】</b> 教育長 植竹 英生 教育長職務代理者 五百木 勉 教育委員 金森 良泰 教育委員 水沼 章文 教育委員 川端 知里	
	説 明 者 そ の 他	<b>【市長部局】</b> 総合政策部長 桜井 厚 総合政策部次長兼政策課長 波多野 康治 <b>【教育委員会】</b> 学校教育部長 大山 祐二 学務指導担当部長 川崎 信雄 社会教育部長 小谷 啓敏 学校教育部次長 高橋 弘道 学務指導担当次長 加藤 大二 社会教育部次長 関根 敦夫	
	事 務 局	政策課 企画・行政改革担当主幹 岡田 務 政策課 企画・行政改革担当主査 大貫 礼奈	
次第及び公開・一部公開・非公開の区分	1 開会 2 市長あいさつ 3 教育長あいさつ 4 協議・調整事項 (1) 平成31年度 教育行政の重点施策について 5 事務連絡		

	6 閉会
一部公開・非公開 の場合はその理由	<input type="checkbox"/> 要綱第7条該当：
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度第1回春日部市総合教育会議 次第</li> <li>・平成30年度教育委員会点検・評価報告書（平成29年度対象）</li> </ul>
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録の署名	春日部市長 石川 良三

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
総合政策部長	【 1 開会】
石川市長	【 2 市長あいさつ】
植竹教育長	【 3 教育長あいさつ】
総合政策部長	<p>【 4 協議・調整事項】</p> <p>(1) 平成31年度 教育行政の重点施策について</p> <p>(1) 平成31年度 教育行政の重点施策について、事務局から説明をお願いします。</p>
学校教育部次長	<p>《平成31年度 教育行政の重点施策について》</p>
総合政策部長	<p>ただいまの説明について、ご意見等がありますか。</p>
五百木教育長職務代理者	<p>学校の安全が第一である。自転車のマナー向上、交通事故の防止、不審者対策、食物アレルギー対策、エピペン、AEDの使用方法、熱中症の予防対処など、保護者や市内小中学校への周知を継続して実施してもらいたい。</p>
学務指導担当次長	<p>自転車のマナー向上及び交通事故の防止につきましては、各学校において学校安全全体計画及び年間指導計画を作成し、計画的に指導をしております。その中で、交通防犯課や埼玉県警の方をお招きし、自転車の安全な乗り方などを内容とする交通安全教室を開催したり、スケアードストレイト教育技法による自転車交通安全教室を実施したりしております。このスケアードストレイト教育技法とは、スタントマンが実際に交通事故を再現することで、交通ルールの大切さを体感してもらう教育技法です。</p> <p>また、不審者対策につきましては、年間の避難訓練実施計画に位</p>

置づけ、春日部警察署生活安全課の方をお招きするなどして、不審者対応避難訓練を実施しております。食物アレルギー対策、エピペン、AEDの使用方法につきましても、それぞれ教職員向けに、市教委主催の研修会を実施し、理解を深めるとともに、技能の向上を図っております。

熱中症の予防につきましても、事ある毎に注意喚起の通知を出すと共に、校長会で対応について周知しております。各学校においても、児童生徒の状態を注意深く確認すると共に、活動時間や活動場所の工夫、水分補給を適切に行うなど対応を行っております。今後につきましては、熱中症予防など暑さ対策について、市の基準をつくる方向で検討しているところです。

金森委員

社会的にも、いじめ・不登校については問題視されている。本日の教育委員会定例会において、10月現在におけるいじめの認知件数について報告を受けたところである。件数の多寡にかかわらず引き続き、十分な対応・指導をお願いしたい。

学務指導担当次長

いじめ、不登校の解消につきましては、市教委としましても最重要課題の一つとして捉えております。これらの問題の早期発見・早期解消については、こども相談課や児童相談所など関係部署及びスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、臨床心理士など専門家と連携を図りながら今後も取り組んでまいります。具体的な取組の一つとしまして、平成24年度から、臨床心理士やスクールソーシャルワーカーなど専門家をメンバーとした「こころのサポートチーム」を組織し、すべての小中学校へ定期的に訪問し、また要望に応じてその都度訪問するなど、いじめ・不登校問題解消へのアドバイスや校内体制づくりへの指導助言を行っております。

水沼委員

今後においても児童・生徒の減少は免れないと思うが、そのような中で来年度より武里南部、庄和北部における学校再編により、新しい学校がスタートとする。今後においても長期的な展望をもって

<p>学務指導担当次長</p>	<p>学校のあり方を検討いただきたい。</p> <p>児童・生徒数の減少につきましては、今後におきましても継続して把握するよう努めてまいります。学校再編の基本的な方針におきましても、継続的に児童・生徒数の調査を進め、長期的な視野に立った検討を進めることとしております。</p>
<p>川端委員</p>	<p>何よりもいじめを許さない意識を全体で持てるような雰囲気づくり、学校づくりを進めていただきたい。</p> <p>また、英語教育・ICT教育については、家庭環境によって個々の進み具合や理解度に差が生じてしまっている。指導する側のフォロー体制の構築や工夫が必要かと思えます。児童・生徒にとって公平な教育環境となるように今後においても取り組んでいただきたい。</p>
<p>学務指導担当次長</p>	<p>子どもたちが楽しい学校生活を過ごせるように、児童生徒一人一人を大切にしたい、一人一人に居場所のある学級づくり、学級経営が重要であると考えております。市教委としましても、県の研修とは別に、指導課におきまして、初任者、2年次、3年次の教員に対し、訪問指導を行っており、教科指導や生徒指導はもちろん、一人一人を大切にしたい学級経営のあり方などについても個別に指導をしているところでございます。また、先日開催しましたスーパー元気さわやかキャンペーンの取組や、道徳の授業の充実、そして、何よりも一人一人を大切にしたい学級づくりをさらに進めることで、いじめを許さない意識の醸成に努めているところでございます。</p> <p>英語教育・ICT教育につきましては、ますます重要になってくるものと捉えております。英語教育におきましては、教職員の指導力向上を目的にブラッシュアップ研修会を指導課主催で行い、また国や県が行う研修会に教員を推薦するとともに、ALTやJTEを小学校にも派遣し、共に授業づくりを行うことで、指導力の向上に努めております。ICT教育につきましては、教職員及び管理職向</p>

	<p>けの I C T 教育研修会を視聴覚センター及び指導課で実施するとともに、県からプログラミング教育の研究指定を受け、今年度は八木崎小学校において研究を進め、今後その成果を各校に広めていく予定です。また、今年度より導入しましたタブレットパソコンを用いた授業の効果的な活用につきましても研究を進め I C T 教育の充実に努めてまいります。</p>
<p>五百木教育長職務代理者</p>	<p>障がいのある児童に対する対策について、例えば医療的ケア児に対して、国は合理的配慮を求めている。合理的配慮とは、「障がい者から何らかの助けを求める意思の表明があった場合、過度な負担になり過ぎない範囲で、社会的障壁を取り除くために必要な措置」と定義づけられている。全ては難しいかもしれないが、補助の対象となっていない医療的ケア児なども考慮に入れていただきたい。</p>
<p>学務指導担当次長</p>	<p>医療的ケア児の課題につきまして、現在、春日部市の小中学校では該当の児童生徒はおりませんが、必要に応じてしっかりと対応して参りたいと考えております。また特別な配慮が必要な児童・生徒の在籍は多数ございますが、学校、保護者が合意形成を図りながら個々に極力寄り添った対応となるよう、市においても特別支援に関する研修を数多く開催することで教員の意識の向上に努めているところでございます。</p>
<p>金森委員</p>	<p>来年度より開校する江戸川小中学校における小中一貫校教育について、中1ギャップの解消につながる期待はもちろんあるが、それと同時に、小学6年生から中学1年生になるという期待感や希望、緊張感などが薄れてしまうのではと危惧している。今後のモデル校にもうなりうる学校なので、あらゆる面で対応が出来るようなカリキュラム、指導をお願いしたい。</p>
<p>学務指導担当次長</p>	<p>小学6年生から中学1年生に上がる際、様々な環境の変化に対応しきれず、登校を渋ったり、不登校になったりする生徒が、他の学</p>

年の進級、進学に比べ多いことから「中1ギャップ」と言われております。しかしながら、ご指摘のとおり、中学生になるという新たな期待感や希望を持つ事も大切であり、江戸川小中学校においては、この期待感や希望を持たせにくくなることも懸念されますが、6学年終了時に「修了証書」を授与し区切りを持たせること、また、7学年から制服を着用するなど、新たな希望を持たせる教職員の指導の工夫により、改善できるものと考えております。

水沼委員

先日、教育委員会において、廃校になった学校の跡地活用事例について視察をしてきたがとても素晴らしいものがあつた。本市においても、学校再編として新設する学校の整備とは別に、廃校となった学校の跡地活用についても、地域住民にとって期待が持てる有効利用となるように願います。

総合政策部次長

今回、庄和北部と武里南部において、3校が跡地活用の対象となってくる予定でございます。こちらにつきましては、平成29年度より部長級職員を中心に組織する「公共施設マネジメント推進会議」において組織横断的に検討を重ねているところでございます。また関係課長において、専門の検討部会を設けて庄和北部と武里南部それぞれの学校について様々な調査、検討をしているところでございます。地域からのご意見につきましては、各地域の学校検討協議会からいただいた具申書の内容を重視しながら検討を進めているところでございます。そのような中で、庄和北部における宝珠花小学校につきましては、行政利用という方向性で検討を進めております。こちらにつきましては、全て市長部局で預かるということではなく、どのような機能を付加する必要があるのかなどを検討しており、具申書の内容を尊重し、教育、行政両方の機能を取り入れるという方向で検討を進めております。一方、富多小学校につきましては、民間で活用できないか検討しているところでございます。民間活用につきましては、行政機能ではなく民間による施設機能や既存施設の利活用など、地域の方からの具申書を踏まえた機能、施設

利用が可能となるような方向性を検討しているところでございます。調整区域の農地の中という立地環境ではありますが、民間活用の可能性を把握するために、対話方式による「サウンディング型市場調査」を行い、詳細につきましては近々公表をさせていただく予定ですが、いくつかの民間事業者から提案をいただいたという経過がございます。武里南部地域につきましては、谷原中学校の跡地がございます。こちらにつきましても行政利用という方向性で検討しているところでございます。内容としましては、具申書の内容を尊重するとともに周辺地域が総合体育館をはじめとしたスポーツ施設に隣接している地域性を考慮し、既存施設の有効活用を図りつつ、周辺スポーツ施設との一体的な利用という方向性で検討を進めているところでございます。

学校教育部次長

教育委員会としましても、市長部局で設置している跡地活用の部長級の推進会議や担当課長級の部会の中に、教育委員会の部長級、課長級の職員が中に入って連携を図りながら協議を進めております。今後展開される跡地活用につきましても、地域の方が期待できるような施設となるような考え方で進めていきたいと考えております。

石川市長

色々と提案していただけるとありがたい。地域で必要なもの、あるいは地域外であっても、活用に関する意見や提案をしていただければ、十分に取入れていくことが可能である。

五百木教育長職務代理者

インターネット利用の頻度が増えることで、不適切な利用が増えてきているように感じる。一度流した情報は、一人歩きするので、十分に注意して流すことに留意していただきたい。あわせて、SNSの利用では、個人情報の保護を第一とすべきことを、児童・生徒には丁寧に教えていただくことを願います。

学務指導担当次長

SNSの不適切な利用につきましては、大きな問題であると考え



ております。各学校では、児童生徒、場合によっては保護者も対象として、専門家を講師にお招きしての授業を行ったり、講演会を開いたり、SNSの利用にともなう危険について指導しているところ

です。  
また、先日、市内を6つのブロックに分け開催しました「スーパー元気さわやか集会」におきましても、SNSの危険について、児童生徒、保護者、地域の方などで話し合うこともできました。今後におきましても、個人情報の保護と関連づけて、指導の充実を図ってまいります。

水沼委員

宝珠花小学校の近くに神明貝塚という史跡があるが、宝珠花小学校の跡地活用とあわせた利用についても検討をお願いする。今後においても、指定文化財の調査研究の充実及び神明貝塚の国史跡化の強化推進と周辺環境整備等を進めていただきたい。

総合政策部次長

宝珠花小学校と神明貝塚は距離的に近いということもあり、出土したものの展示や郷土的な展示につきましても庁内において検討を進めているところでございます。市長部局においては、観光行政にも取り組んでおり、今までありました大凧会館がなくなったという過去の経緯もありますことから、大凧に関するものも施設機能として含め、コラボレーションしていけるような検討を進めているところでございます。市内の小学校の児童、中学校の生徒、あるいは外国から来た人が来ていただけるような仕掛けができないか、空いているスペースについては地域の方との交流ができないかなども含めて検討を進めているところでございます。

石川市長

先日も、武里中学校の音楽部が全国大会で金賞に輝いた。教職員や保護者、地域の方など、子どもたちの教育に大勢の方々が携わることが、素晴らしい活躍に結びついているものだと思う。

そのような子どもたちを支えるため、われわれ行政も、必死になって汗を流さなければならない。事業一つをとってみても、大きく

困難だと思われていた事業が、行政職員が本気を出すことで完了した例は多くある。

今後も教育委員会との連携を密にし、持てる力を発揮して、春日部ならではの教育をより一層盛り上げていく考えである。

総合政策部長

【5 事務連絡】

総合政策部次長

次回の総合教育会議につきましては、2月の定例教育委員会開会後の開催を予定してございます。また、適宜、協議・調整事項等がございましたら必要に応じて開催させていただきます。

総合政策部長

【6 閉会】

議事の顛末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

平成30年11月21日

署名者の職・氏名

春日部市長 石川 良三